

## SPring-8運転・利用状況

財団法人高輝度光科学研究センター  
研究調整部

### 平成17年10～11月の運転・利用実績

SPring-8は10月18日から11月18日まで第7サイクルの運転を5週間連続運転モードで実施した。

第7サイクルでは真空計の異常による停止、RFの反射異常等による停止があったが順調な運転で、総放射光利用運転時間（ユーザータイム）内での故障等による停止時間（down time）は約1.5%であった。

放射光利用実績については、実験された共同利用研究の課題は合計288件、利用研究者は1428名で、専用施設利用研究の課題は合計144件、利用研究者は467名であった。

#### 1. 装置運転関係

##### (1) 運転期間

第7サイクル（10/18（火）～11/18（金））

##### (2) 運転時間の内訳

運転時間総計 約742.5時間

装置の調整及びマシンスタディ等

約122時間

放射光利用運転時間 約611.5時間

故障等によるdown time 約9時間

総放射光利用運転時間（ユーザータイム＝ $\sum$ ）  
に対するdown timeの割合 約1.5%

##### (3) 運転スペック等

第7サイクル（セベラルバンチ運転）

- ・ 11 bunch train × 29
- ・ 203 bunches
- ・ 入射は1分毎にTop-Upモードで実施。
- ・ 蓄積電流 8GeV、～100mA

##### (4) 主なdown timeの原因

真空計異常の復旧のためのビーム廃棄  
電磁石電源の故障によるアポート  
RFキャビティの反射異常によるアポート

##### (5) トピックス

11月11日 8時11分に蓄積リングの電磁石電源が故障により停止しRF-BPMによりビームア

ポートが発生した。直ちに予備の電源と交換し運転を再開した。

#### 2. 利用関係

##### (1) 放射光利用実験期間

第7サイクル（10/18（火）～10/29（土））  
（10/31（月）～11/15（火））

##### (2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン

共用ビームライン（R&D含む）	25本
理研ビームライン	7本
専用ビームライン	14本
加速器診断ビームライン	2本

共同利用研究課題 288件

共同利用研究者数 1428名

専用施設利用研究課題 144件

専用施設利用研究者数 467名

### 平成17年12月の運転・利用実績

SPring-8は11月18日から12月23日まで6週間連続運転モードで第8サイクル（マルチバンチ及びセベラルバンチ運転）の運転を実施している。

第8サイクルの運転・利用実績については次号にて掲載する。

#### 今後の予定

(1) 12月24日から平成18年2月22日までマシンの冬期長期運転停止期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業等を行う予定である。

(2) 冬期長期運転停止期間後の運転再開は平成18年2月23日から4月3日まで6週間連続運転モードの運転（第1サイクル）を行う。詳細な運転条件については決定しだい、ユーザーに報告する。